

柳水亭種清作

神明前
泉市

~ 13
3811
44



13
3811
44

兎雷也豪傑譚 四拾編上

柳中多輝清化 一五五芳齋画

甘泉堂



一

細手若比結輪
九とふぬ取て
鱗象の劔どく
邪術と失とて



兎雷也四十一



志々々々々
 身々々
 ああちたよ
 ちんちん
 ちんちん
 ちんちん



尾形周馬 寛行 任豆刀加 大守

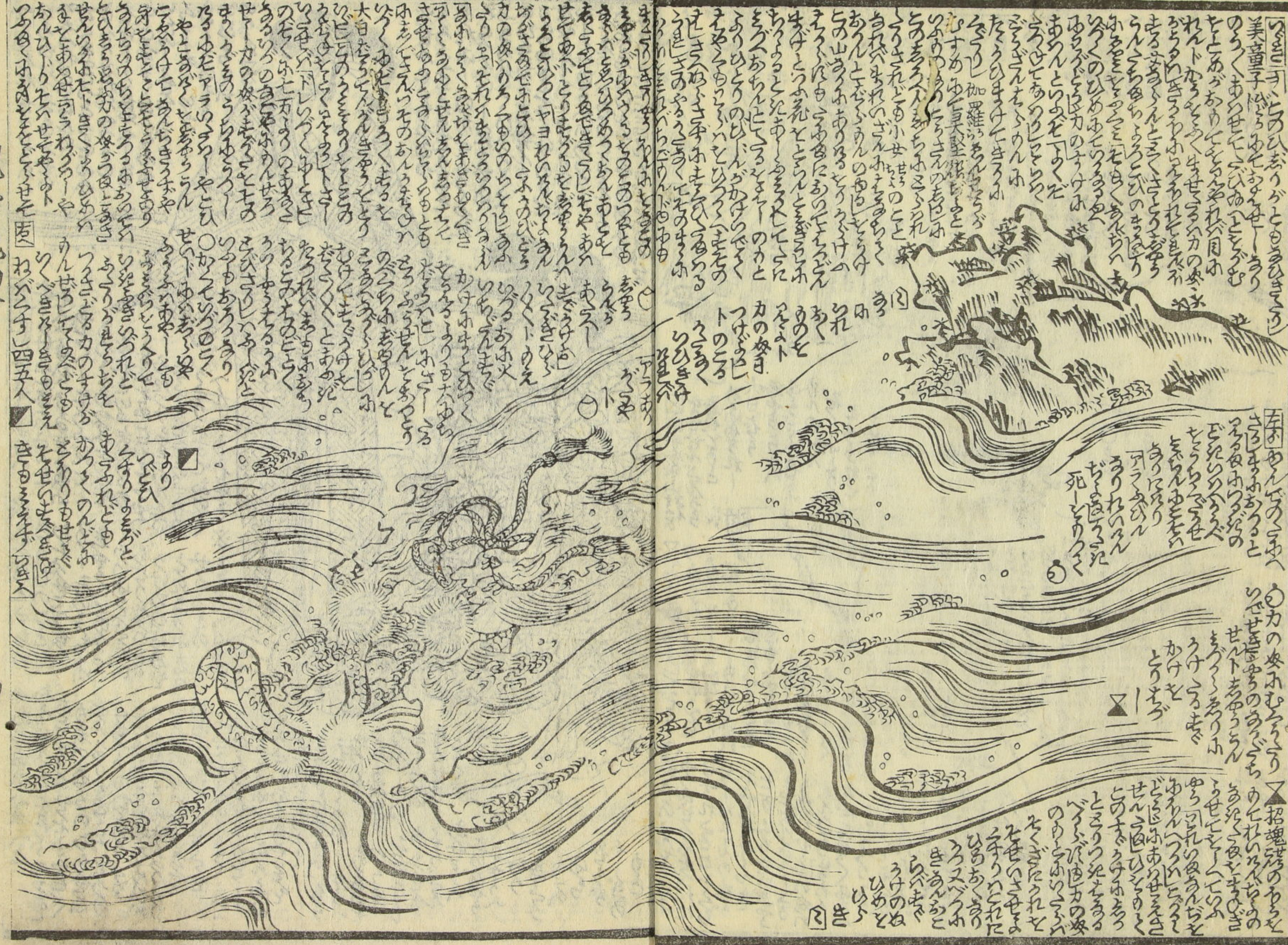
三編 九編 十編 十一編 十二編 十三編 十四編 十五編 十六編 十七編 十八編 十九編 二十編 二十一編 二十二編 二十三編 二十四編 二十五編 二十六編 二十七編 二十八編 二十九編 三十編 三十一編 三十二編 三十三編 三十四編 三十五編 三十六編 三十七編 三十八編 三十九編 四十編 四十一編 四十二編 四十三編 四十四編 四十五編 四十六編 四十七編 四十八編 四十九編 五十編 五十一編 五十二編 五十三編 五十四編 五十五編 五十六編 五十七編 五十八編 五十九編 六十編 六十一編 六十二編 六十三編 六十四編 六十五編 六十六編 六十七編 六十八編 六十九編 七十編 七十一編 七十二編 七十三編 七十四編 七十五編 七十六編 七十七編 七十八編 七十九編 八十編 八十一編 八十二編 八十三編 八十四編 八十五編 八十六編 八十七編 八十八編 八十九編 九十編 九十一編 九十二編 九十三編 九十四編 九十五編 九十六編 九十七編 九十八編 九十九編 一百編

美童子... 招魂... 尺雷世四十五

招魂... 尺雷世四十五

美童子... 尺雷世四十五

尺雷世四十五



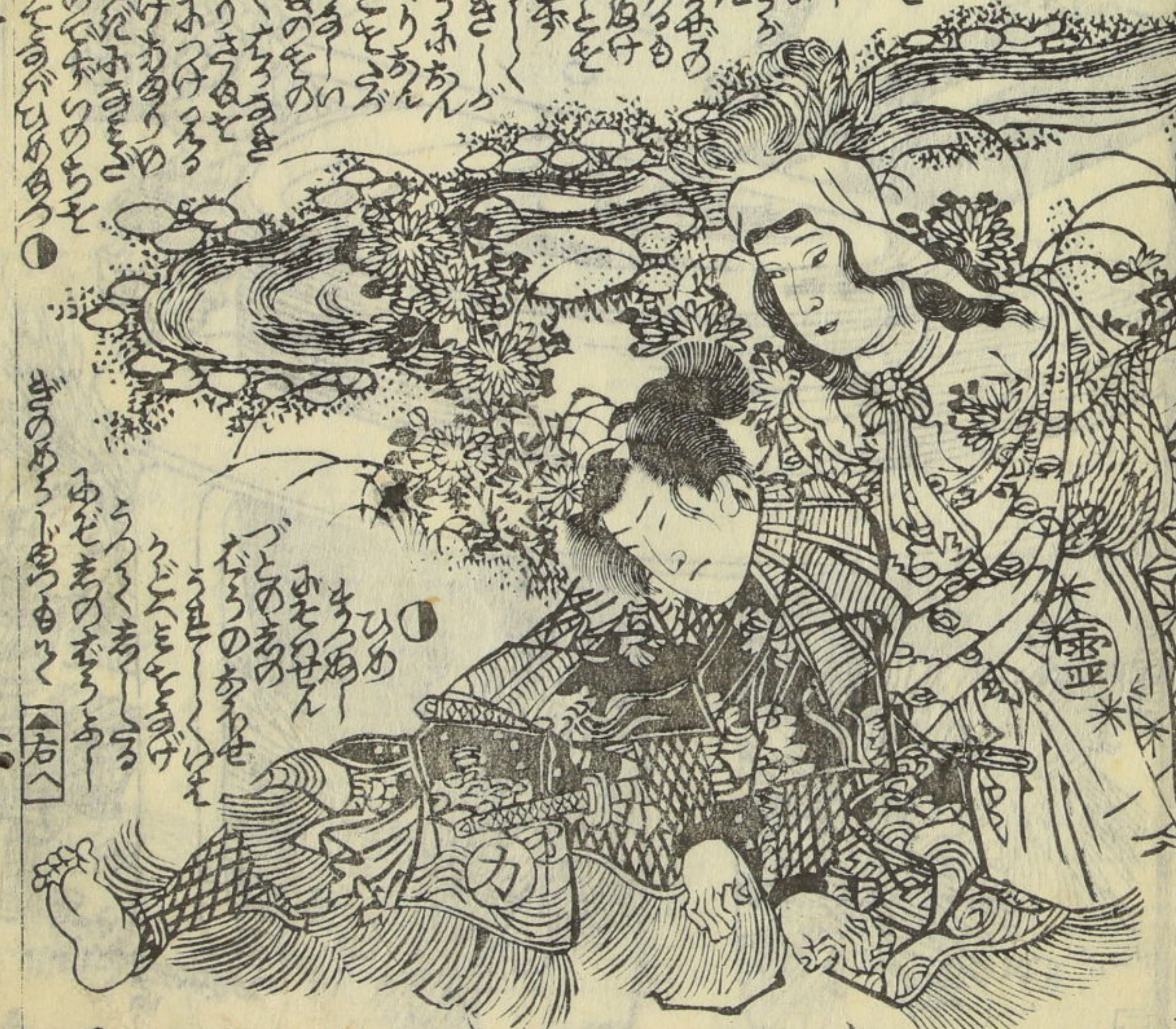
ついでこれからの
ひろゆきついで
あつたついで
ついでついで
ついでついで
ついでついで
ついでついで
ついでついで
ついでついで
ついでついで



△ちよのひいへん
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで

△ちよのひいへん
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで

その火のついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで



あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで
あつたついで



まづのわがをた
あひしきこと
まづのわがをた
あひしきこと
まづのわがをた
あひしきこと

あつたはれと
わがをた
あつたはれと
わがをた
あつたはれと
わがをた

あつたはれと
わがをた
あつたはれと
わがをた
あつたはれと
わがをた

あつたはれと
わがをた
あつたはれと
わがをた
あつたはれと
わがをた

鳥雷世四十



見聞世帯四十

ついでに... 見聞世帯の... 草葺... 赤索...

赤索

黒繩

草葺

歯覆

老蛇戦死の女輩が酔せかりて身調

あはれ... 九人の女の... 歯覆... 黒繩...

芳幾畫
種清作

芳幾畫
種清作
三十四
三十三
三十二
三十一
三十
二十九
二十八
二十七
二十六
二十五
二十四
二十三
二十二
二十一
二十
十九
十八
十七
十六
十五
十四
十三
十二
十一
十
九
八
七
六
五
四
三
二
一

櫻影花關守

初二編

柳煙亭種久作
孟齋芳虎画

兒雷也豪傑譚

三十九編
四十編
四十一編

柳水亭種清作
朝霞樓芳幾画

風俗淺間嶽

十三編
十四編

種清作
芳幾画

女郎花五色石臺

十編
十一編
十二編
十三編
十四編

柳水亭作
惠齋芳幾画

不思議塚小說櫻

四編
五編
六編

柳水亭種清作
惠齋芳幾画



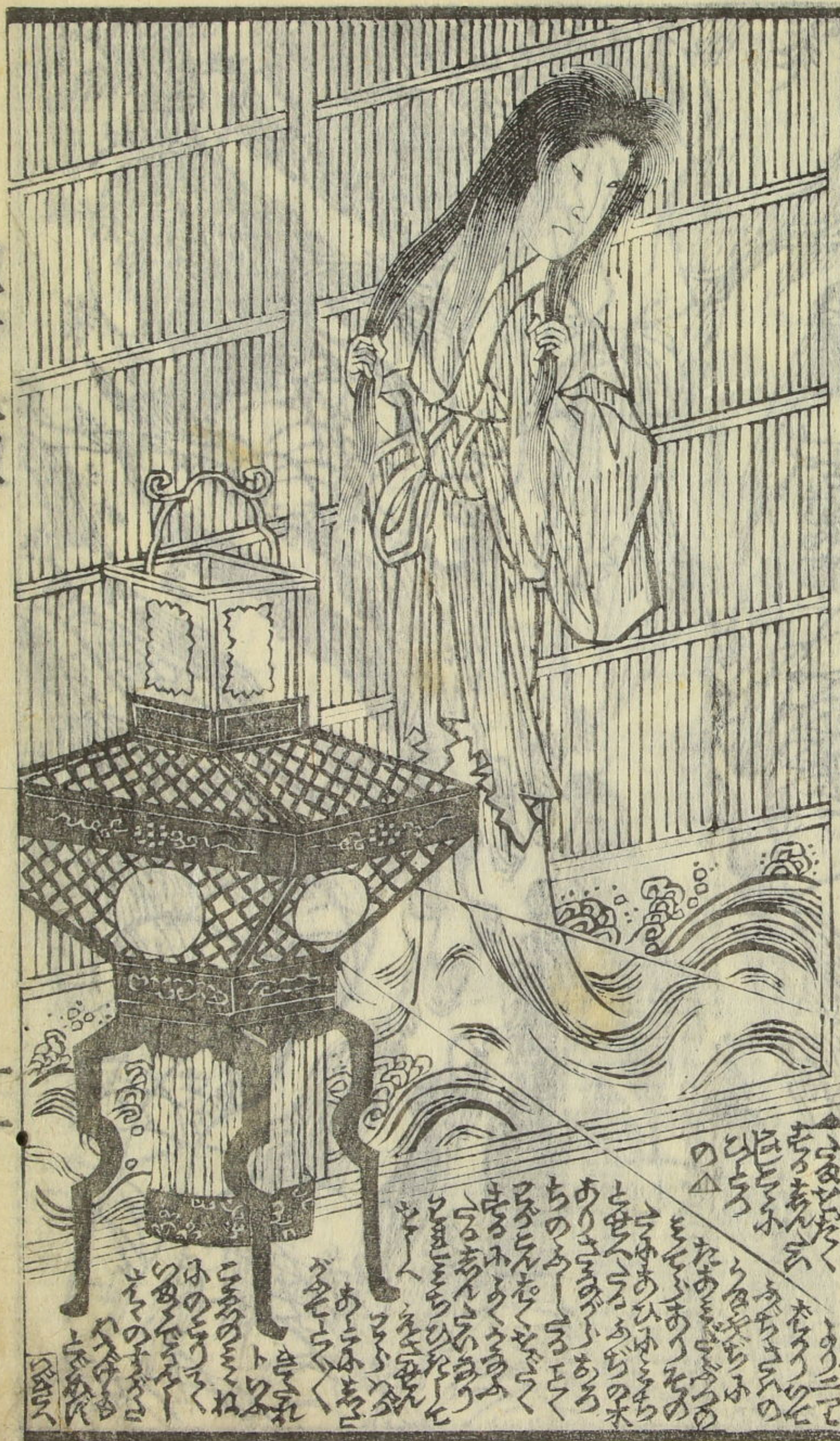
一惠齋芳幾画



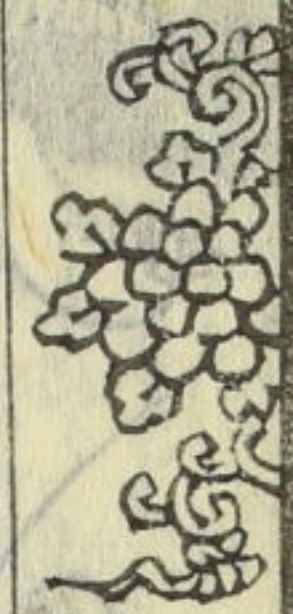
下

見雷也豪侖譚
編十四





三
 三



三
 三

三
 三

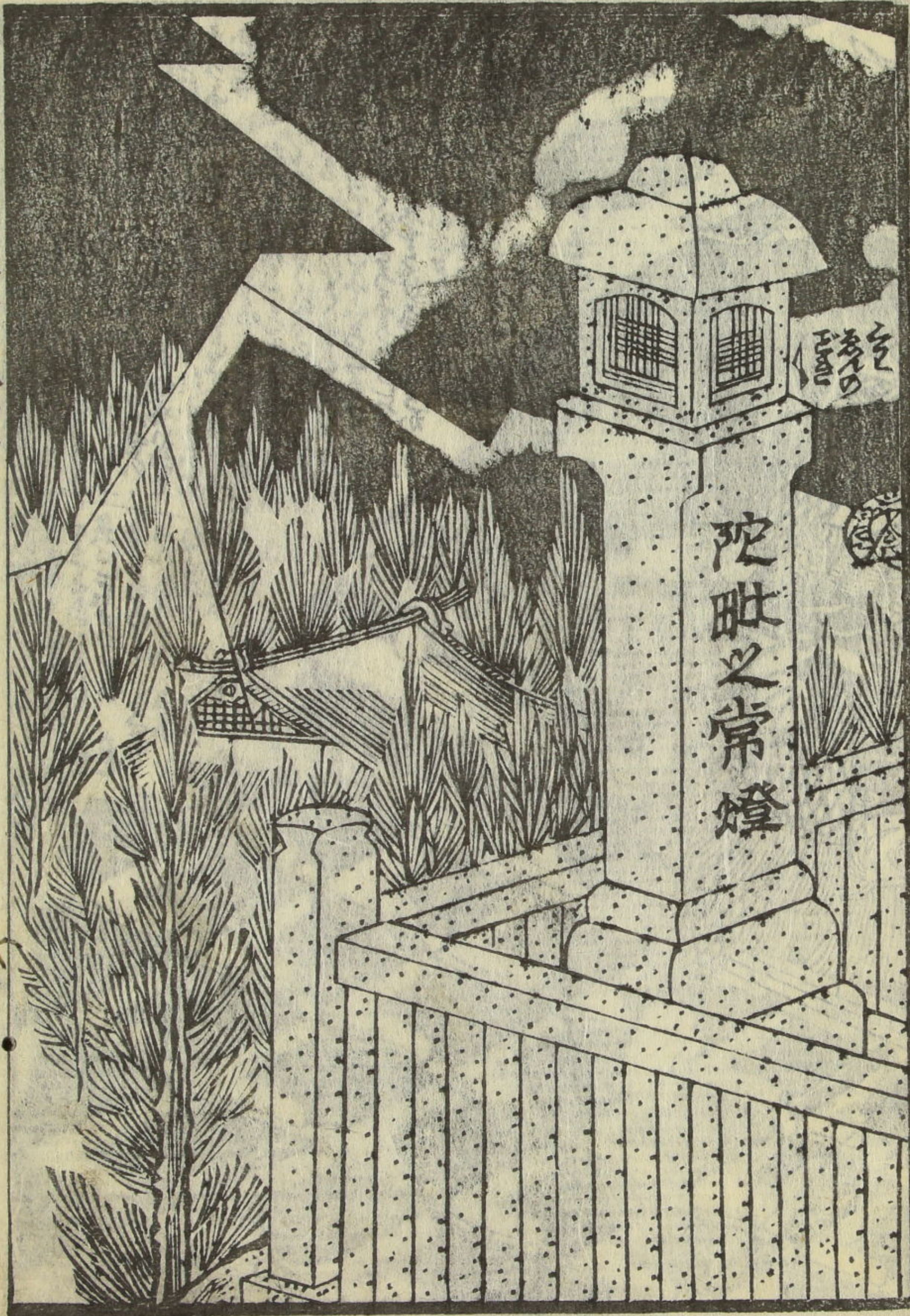
三
 三

三
 三



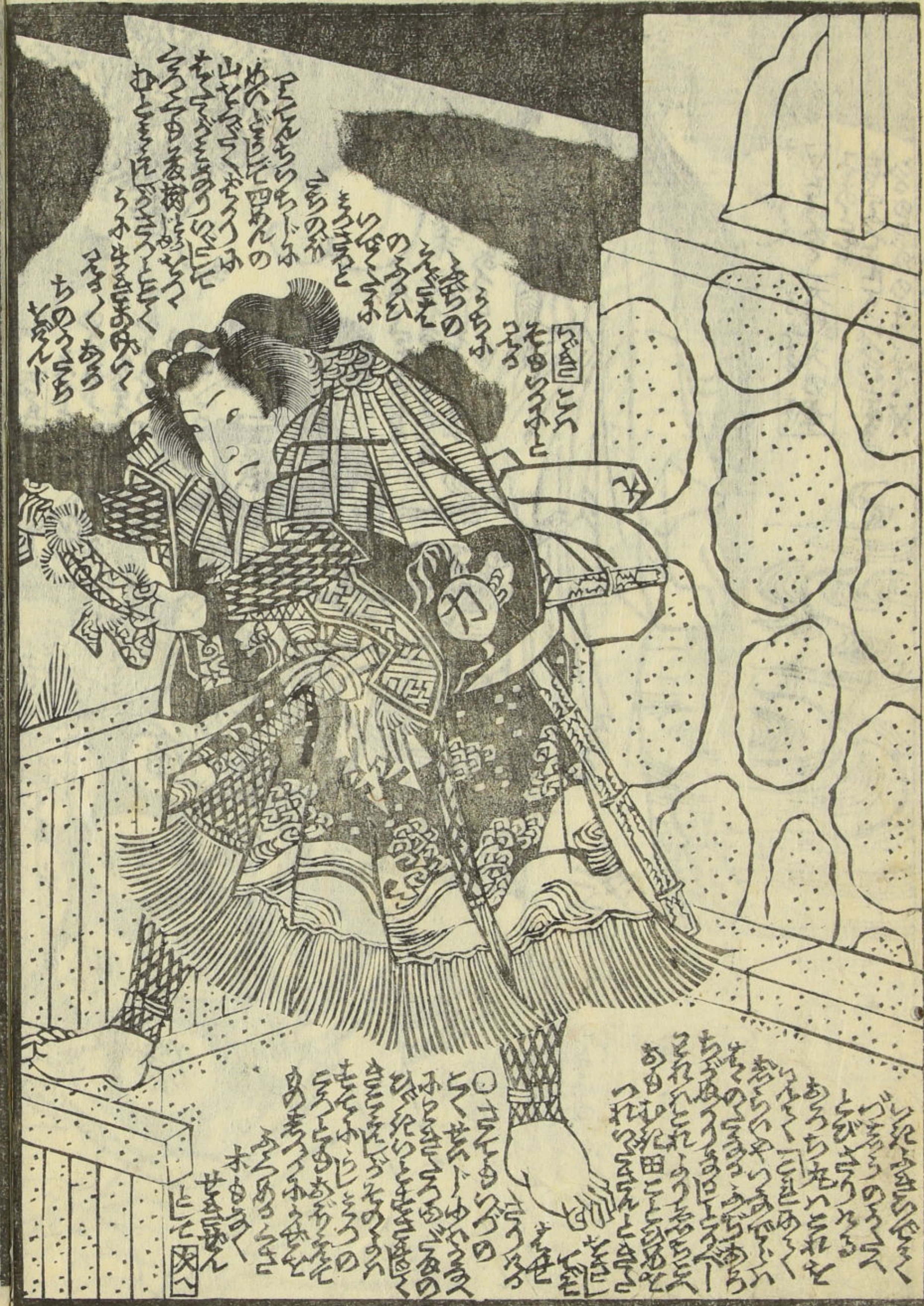
三
 三





陀毗之常燈

常燈



Handwritten text in vertical columns, likely a historical or narrative account. The text is written in a cursive style, filling the upper and lower portions of the page around the central illustration.



Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or providing commentary. The text is densely packed and follows the layout of the page, surrounding the central illustration.

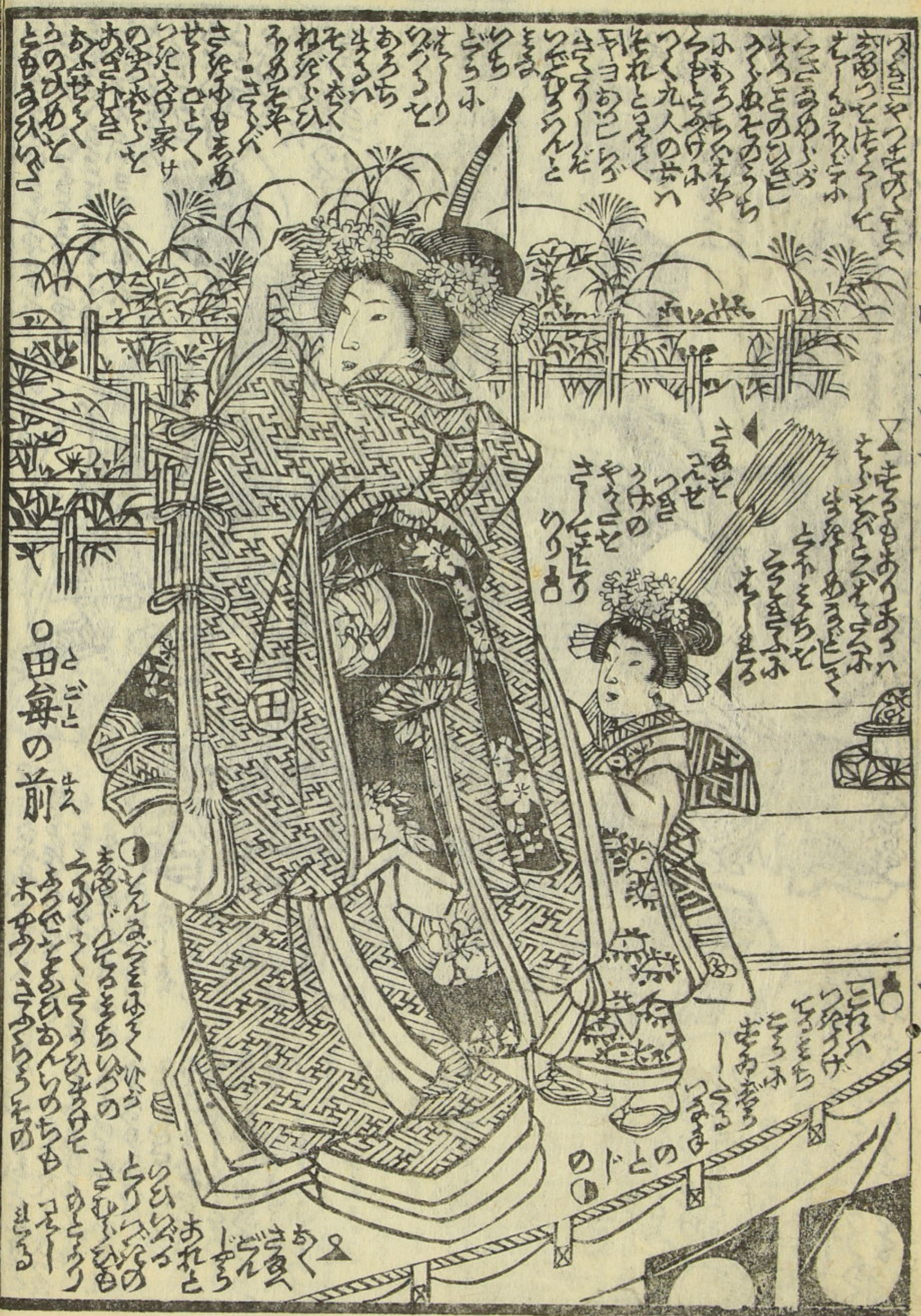




守り
練る時
忽地
変ありと或心入る

花
鳥
図
巻

花
鳥
図
巻

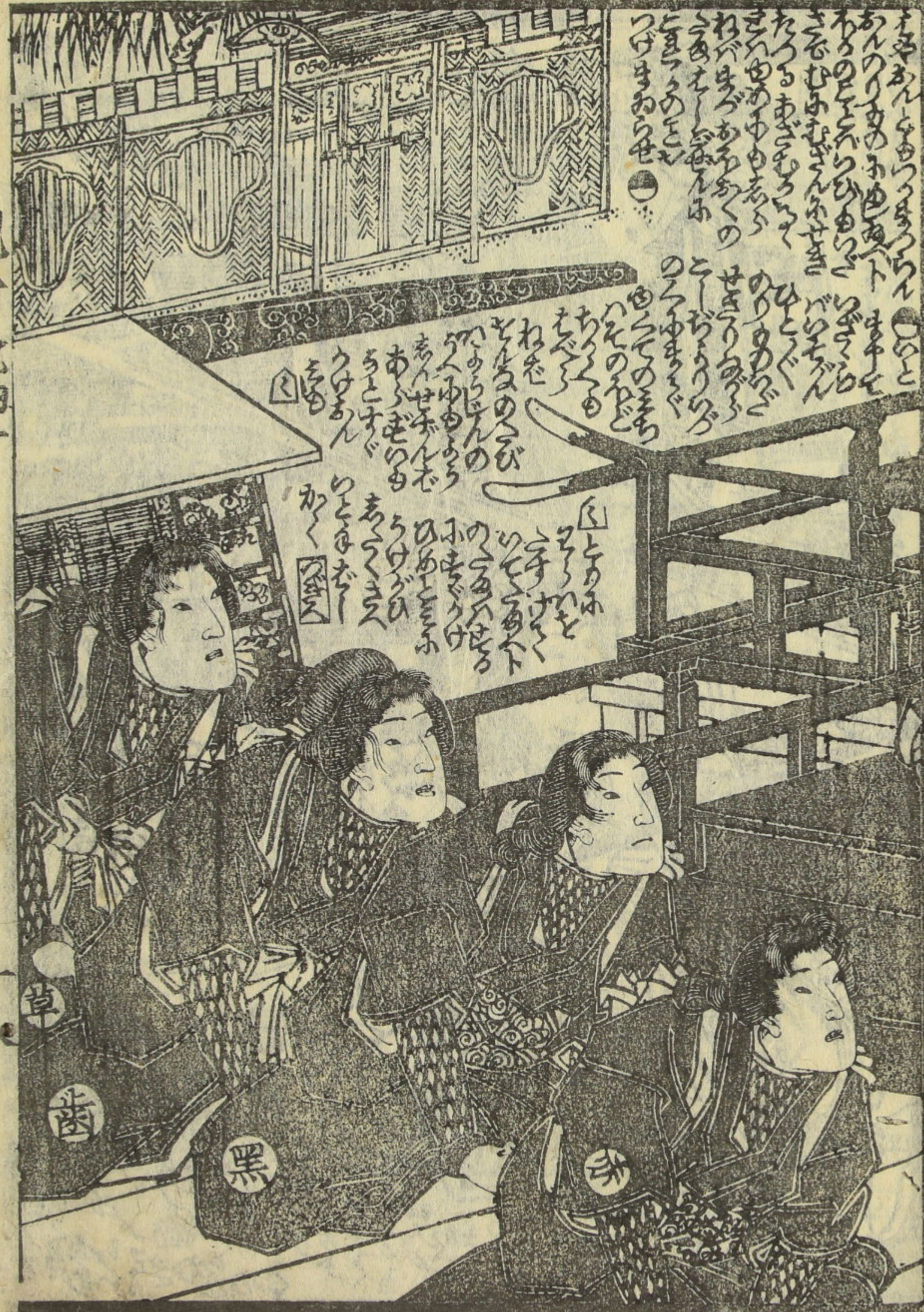


田毎の前

田毎の前

花
鳥
図
巻

花
鳥
図
巻



草

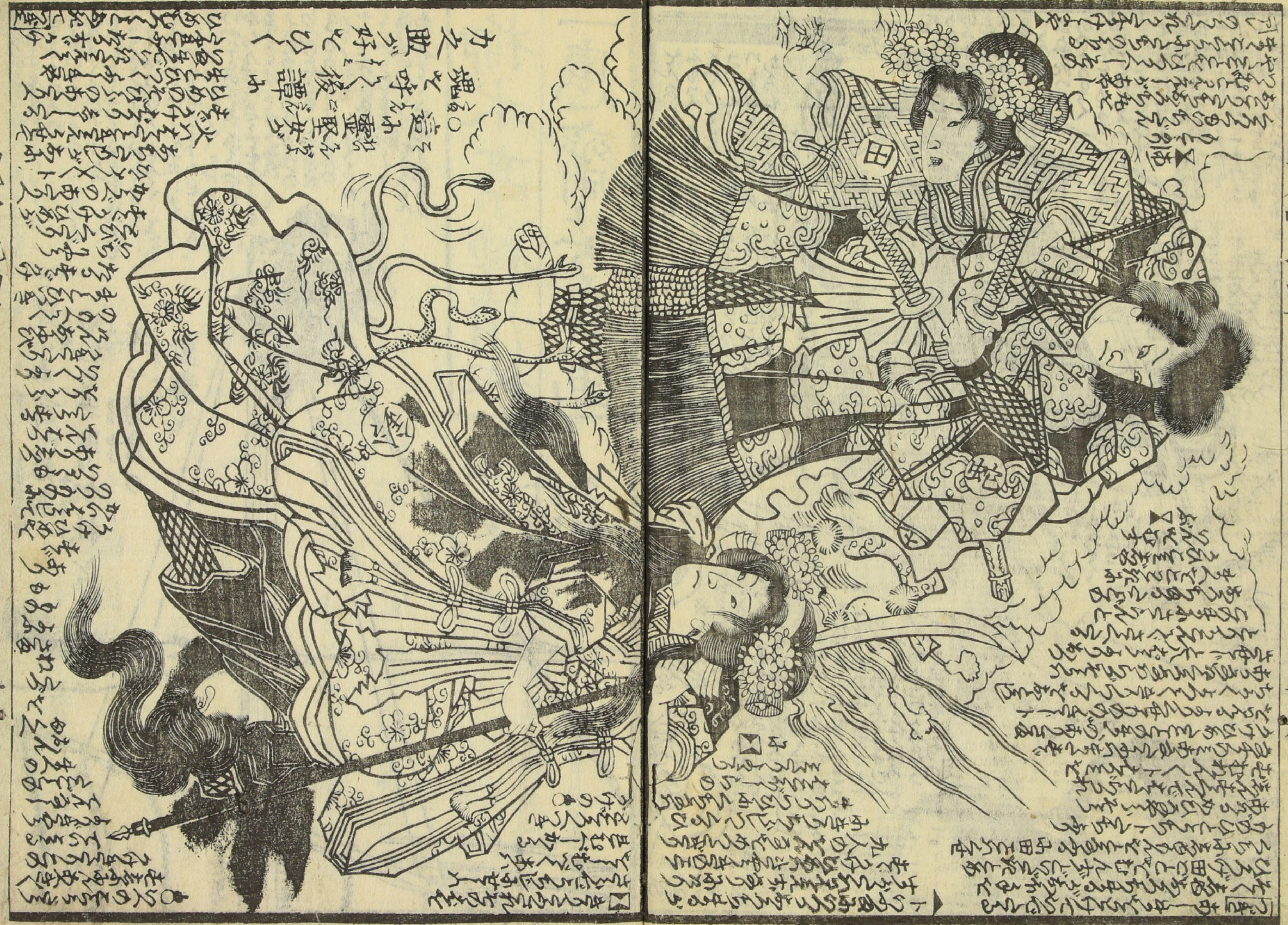
茵

黒

珠







力之助が好む
 魂を呼ぶ後譚由
 ○這小靈堅女

此の御覧の如く
 女は火を以て
 世に燃らすは
 世に燃らすは
 世に燃らすは

山田四郎

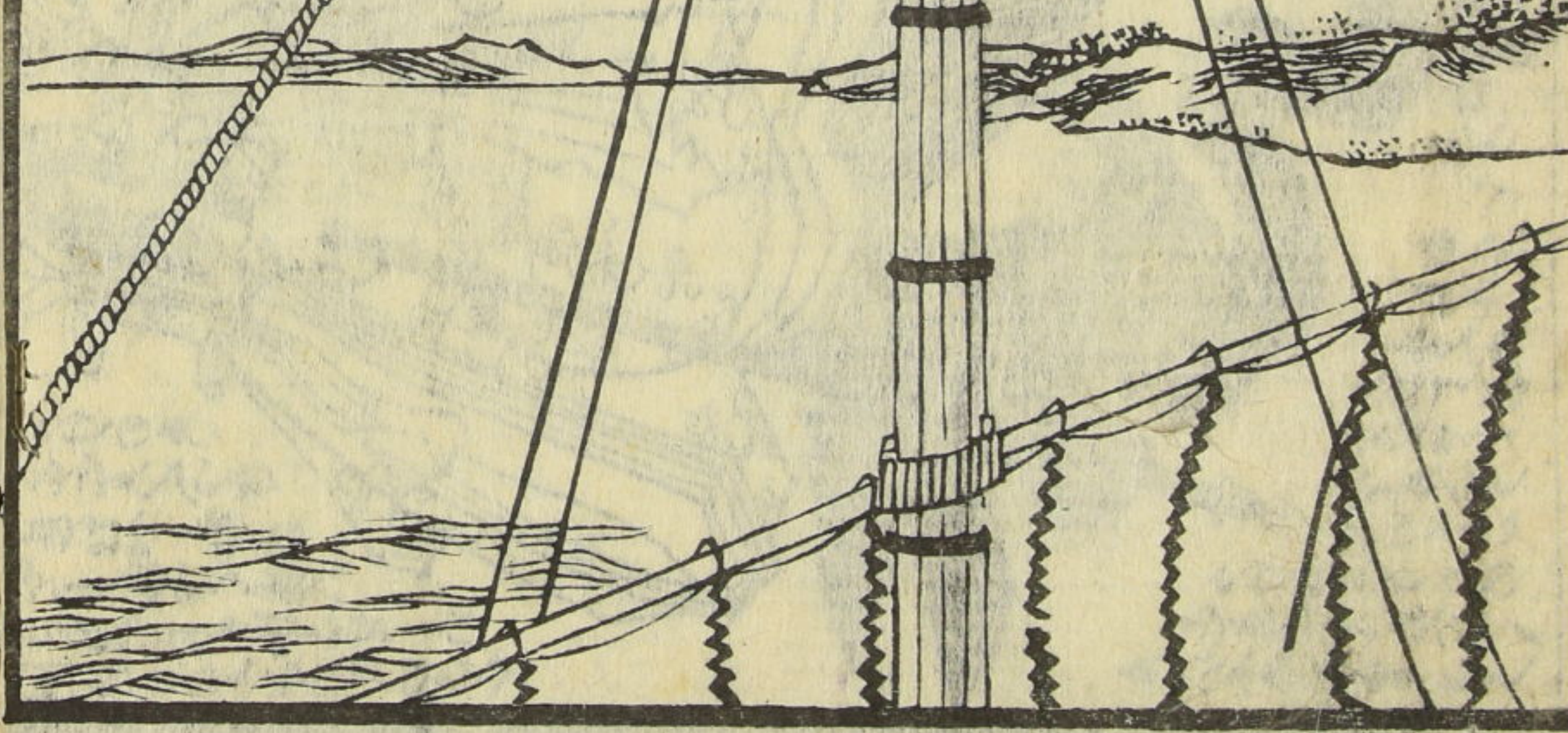
十一

卷之七

此の未前を描顯り
 姫松力之助が帆柱を
 挙て鎌倉の
 動靜を

柳水亭種清作
 一恵心竊扇仕芳幾画

窺小吏の
 四十二篇の
 分解



忠臣
 貞婦
 以呂波文庫

七編 柳煙亭種久作
 八編 歌川芳幾画
 九編

黄金水大盡

十四編 尾永喜水化
 十五編
 十六編 一友与芳幾画

假名
 反古
 一休ざり

十四編 柳煙亭種久作
 十五編 朝霞樓芳幾画
 十六編



錦繪
 草紙問屋

芝神明前
 和泉屋市兵衛

